

第29回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時：令和6年1月17日（火）

午前10時00分～午前11時00分

場所：長野市役所第2庁舎10階202会議室

出席委員：6名

竜野委員長、金澤副委員長、越原委員、塚田委員、石川委員、柳瀬委員

欠席委員：1名

吉川委員

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事

(1) もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 中間報告

資料1、資料2（説明者：もんぜんぷら座敷地利活用検討部会長、事務局）

発言者	発言内容
委員	<p>全体の感想として、もんぜんぷら座敷地利活用の内容は非常によくまとまっている。私は、中心市街地活性化の計画がしっかりできない中でもんぜんぷら座敷地利活用の方針が決まるということはあるとは思っている、まずはまち全体をどうするかということをしっかり考えていかなければならないと思う。第一期、第二期中心市街地活性化基本計画を策定した頃と今とでは環境がまったく違うということ踏まえないといけないと思う。周囲の御意見を聴きながら、須坂市にイオンモールができることなども踏まえた上で、中心市街地活性化の計画を練らなければいけないと思うが、今回のもんぜんぷら座敷地利活用の内容は良くまとめてくれたと思う。</p> <p>一部少しだけ意見を言わせてもらおうと、まず、商業に関しては、須坂市にイオンモールができてからでない結論が出ないのではないかと。イオンモールの大きさは約10万平米ということなので、ここに導入する商業機能としては、近江町市場のような巨大な商業施設でないと難しいのではないかと。イオンモールが出店した後にここに来る人はほぼいなくなると思ったほうが良い。新田町交差点周辺において建て替えや再開発事業が始まるのは、周辺の商業環境が変わった後になると思うので、もう一度内容を練り直す動きがあるのではないかと。</p> <p>今のもんぜんぷら座には観光という切り口はほぼない。コンベンションビューローがもんぜんぷら座の4階に入居しているだけである。</p>

	<p>新田町交差点周辺で店舗経営に携わっているが、店の売上を見ている観光という切り口はほぼない。昨年度、善光寺御開帳があったが、店の売り上げはまったく変わらなかった。周辺で経営をしている者としては、観光客に訪れていただくことは厳しい地域だと感じている。</p> <p>近江町市場のような広さと大きな売り場があれば、長野のものを集めて何かやることができるかもしれない。須坂市に広大な施設が出店するとなると、そこに勝てるだけの機能が必要だと思う。近江町市場には170店舗ぐらいテナントが入っているようだ。そのくらいの店舗数があれば、近隣商業施設にも対抗できるのではないかと思う。</p> <p>観光という面では、今後も善光寺は賑わうと思うので、bateいお大門周辺は周辺環境が変わっても人が集まる地域だと思っている。善光寺周辺は観光として非常に良い場所である。これは感想なのでそこまで気にしていただかなくて良いが、新田町交差点周辺は、近隣にホテルがあったりするのでスケート選手など長野オリンピックの施設を利用する方の来街はあるようだが、観光客はほぼいない。観光は非常に難しいところがあるのではないかと思う。</p> <p>商業立地の可能性については、すでに事業者ヒアリングをしてもらっているので、先ほど説明いただいた内容と同じような意見だと思うが、出店は難しい状況になったように思う。中心市街地の位置から考えて、今もんぜんぷら座に商業が必要かと言われると、そこまで必要だとは思わない。ただ、2025年秋にイオンモールがオープンした後、長野駅前がどうなるのか、権堂が現状のままですらわれるのか、そのあたりの状況によってもんぜんぷら座敷地への商業立地の必要性の位置付けは変わってくると思う。新田町交差点周辺整備については、長野駅前がどう変化していくかの動向を踏まえ、もう一度見直す必要があるのではないかと思う。先日、島根県松江市の百貨店が閉店した。今年7月には岐阜市の高島屋が閉店する予定であり、これで百貨店が1つもない県が4つになる予定である。これは大型ショッピングセンターが原因の1つだと思う。今後イオンモール出店の影響がないとも限らないので、長野駅前は市民を挙げて、何とか百貨店を残すというような勢いで頑張らないといけないと思う。周辺環境の変化を注視していくと、もう一度内容の見直しをする必要が出てくる気がする。</p>
事務局	<p>商業については、資料に記載の通り、周辺の商業環境を踏まえた上で慎重に判断ということになると思う。商業は民間事業者が事業性を判断するところもあるので、それらを踏まえて対応していきたいと思う。</p>
事務局	<p>補足をさせていただく。観光機能について、もんぜんぷら座の敷地はもんぜんぷら座解体後、自由な土地活用が可能になるので、その空間を使ってPPPなどの制度を用いながら、マルシェのようなものを導入</p>

	<p>したらどうかという意見がもんぜんぷら座敷地利活用検討部会に出ている。一例として近江町市場の話が出たが、実際には大きな規模のものは難しいと考えている。むしろ、市内で生活している人も利用できるようなマルシェというのは、観光に寄与できる部分があるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>第2回もんぜんぷら座敷地利活用検討部会において、もんぜんぷら座の既存機能のうち、何を新田町交差点周辺に残すかを検討した結果、残す必要性が高いものと、そうでないものを仕分けしていると思う。だが、最終的には残す必要性があまり高くないと判断されたものを南西街区へピックアップしてきているように見受けられる。このような結論に至った経緯を伺いたい。</p>
事務局	<p>もんぜんぷら座敷地利活用検討部会において、新田町交差点周辺である必要がない機能は新田町エリア外への移転を検討してはどうかというご意見をいただいている。また、そういった既存機能をすべて直接移転した後、南西街区（もんぜんぷら座敷地）については自由な土地活用が可能となるので、新たな機能として、民間活力を活用した観光情報発信や商業機能を導入し、賑わいの創出に繋がられないかというご意見をいただいている。</p> <p>資料1の中でグレーの網掛けをしている就労支援等の機能（新田町交差点周辺である必要のない機能）については、基本的にはエリア外への移転ということで、検討がなされている。</p>
委員	<p>南西街区（もんぜんぷら座敷地）については、どういった機能が導入されるかまだ確定されていないということか。</p>
事務局	<p>新田町交差点周辺エリアは「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」であるという位置づけであり、エリア特性を踏まえ、就労支援などについてはエリア外への移転を検討してはどうかという意見が出たものである。既存機能自体は、なくして良い機能というわけではなく、それぞれ重要な機能ではあるが、中心市街地の結節点というエリアの位置付けの中で、エリア内に残すべきものと、必ずしも新田町交差点周辺である必要のないものに仕分けをさせていただいた。</p> <p>既存機能が現在の場所から移転すると、もんぜんぷら座解体後の敷地については、自由な使い方ができるので、アンケートでも意見が出ている観光情報発信や商業機能を新たな機能として、民間活力を用いた形で導入することを検討していく必要があるのではないかということである。</p>
委員	<p>新田町交差点周辺エリアが中心市街地の結節点となる地域であるということは以前から話が出ており、私自身もバスターミナルなどを考えても良いのではないかと発言した記憶がある。結節点というのは人間の行動がそこから変わる場所というような意味合いがあると思う。また、複数の交通機能が交差する場所のような意味合いもあると思う。</p>

	<p>徒歩や自転車、バスといった交通機能のバリエーションを少しでも増やせるような場所になっていくと良いと思うが、そういったことに関しての検討はされているのか。具体的に例えば、塾が多い場所は特定の時間になると付近に停車する車が多くなる問題が起こると思う。飲食店の周辺であれば代行の車が往来したり、日中だとトラックが通ることなども考えられる。そういったことを踏まえて、駐車場というよりも停車する場所のバリエーションを増やしたりして、何か新しい、長野駅周辺とは違う結節点のデザインができると思うが、いかがか。</p>
事務局	<p>非常に貴重な御意見をいただいた。御指摘のとおり、新田町交差点周辺はバス路線が集中する地域でもある。具体的にどのような取り組みができるかについては、方針を定めていく中で今後検討していく必要があると思う。</p> <p>また、長野中央西地区市街地総合再生基本計画の中には、もんぜんぷら座敷地利活用推進というプロジェクトの他に、中央通りウォークブル推進事業というプロジェクトも位置付けている。中央通りを歩きやすい道にしようという中で、新田町交差点から北側の中央通りは前々回の善光寺御開帳に合わせ、歩行者優先道路化がすでに行われている。新田町交差点より南側に関しては、北側とは地域特性が異なる中でどういった道路の在り方が必要か、あるいは中央通り周辺や沿道も含めて、どういった整備が必要かということについて、現在、地元5商店会の皆様と勉強会を行っている。その勉強会の中で、荷捌きや送迎の問題について普段から利用している皆様方の意見をお聴きしながら、どういった有りようが必要かをまさに今検討しているところである。まだ具体化しているものではないが、そのような動きをしているところである。</p>
委員	<p>長野駅から善光寺までの繋がりが途切れているように感じるということは以前から話をしてきた。</p>
事務局	<p>新田町交差点は長野駅から善光寺に向かうちょうど中間点あたりに位置しているので、そういった中で、新田町交差点周辺エリアを人が往来する場所にしていければと考えている。</p>
委員長	<p>現在、新田町交差点は路線バスが多く通っているが、今月21日以降、長電バスは日曜日を運休にするようである。そうすると、今までのように人集まりやすいところだと言えなくなってくるのではないかと思う。長野の人はわりと自家用車を使うので、バスは関係ないと言うかもしれないが、皆がみんな車を使うわけではないし、高齢の方など公共交通機関を使う人も多くいると思う。今は良いかもしれないが、交通の便がこの先どうなっていくのか心配である。</p> <p>また、TOiGOとTOiGOパーキングはたった一本道路を隔てているというだけだが、我々はそれだけのことで不便さを感じてしまう。施設と駐車場との組み合わせは、今後具体化していく中で考えていくべきだと思う。</p>
事務局	<p>公共交通については現在大きく動きがある。2024年問題という話題</p>

	<p>もあるが、今後環境が変わっていく中で、当然重視しなければならないことだと思う。一方で、新たなモビリティの開発が進んでいる状況もある。さらに、本市においても健康増進都市ということで、歩いて暮らせるまちということも考えているので、そういった意味での環境整備も必要だと思っている。もちろん、公共交通としての重要性を認識しながらも、そのような取り組みとあわせて、今後の活用を考えていきたい。</p>
--	--

(2) その他

	<p>その他議事無し</p>
--	----------------

5 その他

第三期長野市中心市街地活性化基本計画策定に向けて

資料3 (説明者：事務局)

<p>委員</p>	<p>この第三期中心市街地活性化基本計画策定は非常に重要なので、皆さんの力でしっかりやっていただきたいと思っている。来年になるとどの地域も環境は大きく変わると思う。いかにしてこの地域で市場を取っていくかということを考えていかなければならないと思う。2025年秋になると、環境の変化を大きく感じると思うので、そこまでにちゃんとした計画をつくっておかないといけないと思う。今はまだ歩いて楽しいまちでもないし、道路もあまり良くなかったりするので、ウォーカブルなまちづくりをする意味でも、須坂に来たら長野に寄って行こうかなと思われるまちづくりを実現してもらいたい。すぐにできるわけではないが、この計画が良いものになれば、良いまちに変わっていくと思う。できるだけ市の独自プランではなく、国認定の基本計画にしていただければと思う。計画期間5年以内という条件がある中で、今の計画が市の独自プランになった経緯もよく分かっているが、内閣府と調整して、国認定の基本計画にしていいただきたい。市民の声を聴いて、変化に対応していくことが重要だと思う。是非お願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後、周辺環境が大きく変わっていく中で、庁内の商工部局、観光部局とも連携しながら進めて参りたいと思う。</p> <p>また、現在は中心市街地活性化プランという市独自のプランで運用しているが、市としても次期計画は第三期中心市街地活性化基本計画として国から認定を受けられるよう調整を進めていきたいと思っている。</p>

6 閉会